

ネットを利用した住宅警備サービスを開発し、家庭の警備需要を開拓

事業内容

各種セキュリティサービス、セキュリティ機器の開発・販売

■ IT導入の目的、ねらい

都市部を中心として治安が悪化し、住宅の警備ニーズが高まりつつある中で、信頼できる安価な警備サービスの開発が課題であった。

一方、IT化の進展により、ブロードバンド化と通信料金の低価格化が進み始めており、当社はそこに着目した。従来の機械警備は電話回線を利用するため、データを送受信するたびに通話料がかかり、約数千円の通話料が必要となる。しかしインターネットの定額サービスを利用している家庭であれば、この通話料が不用となり、費用を下げるができる。一般家庭でのインターネットの普及が急速に進んでいることから、当社は業界に先駆けてインターネットを利用した警備サービスを開発することとした。

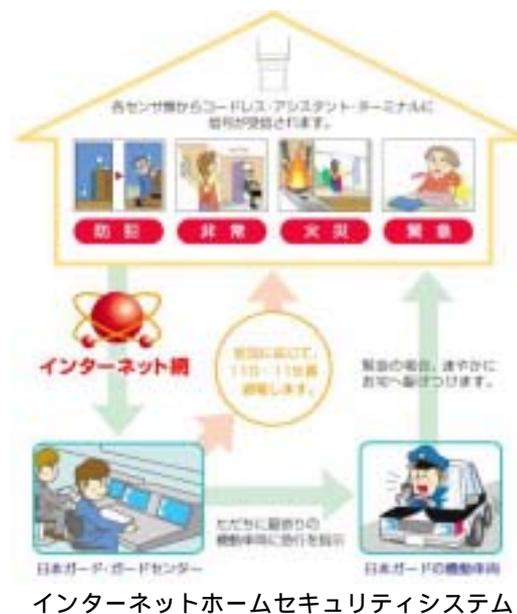
■ IT導入の経緯

インターネットホームセキュリティサービスを提供するためには、インターネットに対応した家庭用警備送信機を開発するとともに、警備監視サーバ、セキュリティ対策の検討が必要であった。警備送信機は送信機メ

ーカーと共同開発した。警備監視サーバ及びセキュリティ対策は、24時間365日ダウンしないシステムが必要であり、予算の範囲内で最大限信頼性の高いシステムを構築した。約1年間をかけてこれらの開発、検討を行い、平成13年にサービスを開始した。利用料金は端末を買い取る場合は月額3,800円～、端末をレンタルする場合は同6,300円～に設定している。

■ ITの導入状況と費用

監視サーバと警備送信機の開発に数千万円の投資を行った(当社技術員の人件費を除く)。維持管理は、サーバの保守サービス料が100万円/年程度支払っている。また、社内では当社の技術員が対応している。



■ I T 導入時の問題とその対応策

インターネットを利用する場合、回線の信頼性が保証されていないことから、送信された信号が届かない可能性がある。警備の性格上信頼性が確保されないことは重要な問題であり、インターネットの利用に批判的な見方もあった。

そのため、バックアップ用の電話回線を利用し、インターネット回線で送信できない場合は、家庭用の端末が自動的に判断して電話回線に切り替えるようなシステムとした。これにより既存の電話回線を利用したセキュリティと同等の信頼性を確保した。

■ I T 活用の具体的効果

当サービスは順調に利用者が増加しており、ほぼ計画どおり黒字化できる見込みである。

また、業界初のサービスであることから、マスコミに取り上げられたため、大きな宣伝効果を得ることができた。さらに、ニュースを見た他の業界の企業から、新しい介護サービスを共同開発したい等との申し出が来るようになり、そうした企業と共同で、I T を利用した新サービスの開発を進めている。

■ 今後の I T 関連計画

ホームセキュリティ分野では、ブロードバンドのメリットを活かして、警備先の画像を確認するなどのサービスを検討している。さらに高齢化により需要増加が見込まれる介護分野についても、健康管理データを送受信できるサービス等の実施について、検討を行っている。

■ その他の取り組み

また、モバイル化の進展に着目して、GPS を内蔵した携帯端末機を利用した個人向けのモバイルセキュリティサービスを開発し、平成14年10月に全国に先駆けて提供を開始した。このサービスは、単に端末をもつ者の位置情報を提供するだけではなく、突然の発作や犯罪に巻き込まれたときに自ら緊急通報できるもので、依頼があれば当社が現場に駆けつけて保護するサービスも提供している。

■ 今後 I T を導入する企業へのアドバイス

- ✓インターネットの常時接続が当たり前の時代となっており、そうした環境を利用した商品開発を考えるべきである。
- ✓とりわけ、他社に先駆けて商品化することが重要である。
- ✓先駆者は苦勞も大きい。しかし、注目されることで、外部からビジネスに有用な情報が入ってくるようになり、大きなメリットを受けることができる。
- ✓苦勞を乗り越えたノウハウは、会社の大きな財産となる。

会社名	日本ガード株式会社
業種	警備業
設立年月	昭和42年12月
資本金	1,280万円
従業員数	448人
所在地	岐阜市茜部中島2-66-6
URL	http://www.nihonguard.co.jp/